

銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	国土無双	e-mail	
Title			
Message			
<input type="button" value="とうこう"/>			

[1153] 休暇という選択 2008年12月2日 19時34分

レオンさん e-mail

国土無双さん、[1152]を読みました。大変ですね。会社を今すぐには辞めずに、会社に相談して、とりあえず休暇をとってみる、というのはどうでしょうか。そして、休暇中に、銀杏企画の職員さんなどに相談してみてもいいかがでしょうか。そして、会社に病気の事を話して、「今よりもゆったりしたペース」で働けるよう、相談してみるという方法もあるのではないのでしょうか。その際、職員さんに同伴してもらおうという方法もあるのではないのでしょうか。もちろん、職員さんなどに相談したうえで、辞めるという選択もありえると思います。間違った事を言っていたら済みません。

[1152] ついに、ドクターストップ??? 2008年12月2日 17時40分

国土無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

昨日は、ブルーアイズに申し訳ないことを書き込んだお詫びをしましたが、いまだ反省しておりますので、どうかお許し下さい<(_ _)>

ところで、今日は今年、最後の診察があったのですが、職場の状況を主治医の先生にお話したところ、主治医の先生も、「健康第一」、「再発の可能性あり」、「幻聴などを感じたらすぐに相談を」と今までの、就労継続の支援的な態度から一変し、

「もう、頑張ったから、仕事を辞めることも道の一つ」
と退路の道も選択肢にして下さいました。

国土無双は、又、いつものように、「前向きに頑張りなさい」と言われる物と思って診察に臨んだのですが、主治医の先生の豹変ぶりに少し驚きました。

誰かに相談したくて、銀杏に顔を出そうと思ったのですが、家に帰ると疲れが出て、寝てしまい、この掲示板に書き込んでいます。

国土無双にもついにドクターストップがかかったのかと思い、少し心配です。
仕事に対するモチベーションもかなり落ちてしまいました。

ゆっくり、就労支援センターの職員さんや、銀杏の職員さんと相談してみたいですが、その時間さえありません。

今後に大きな影を及ぼす診察だったので、少し気が重くなってしまいました。
もしかした、又、作業所のお世話になるという選択肢もあるので、その際は、皆さん、いじめないで、仲間に入れてください<(_)>
弱気な、国土無双ですが、書き込みます。

[1150] ブルーアイズさんの、発病時期も知らずに・・・ 2008年12月1日 21時39分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

ブルーアイズさん、書き込み読ませて頂きました。
高校時代に発病されたことも知らず、昨日は国土無双の偉そうな書き込み、ご勘弁下さい<(_)>

病気が原因で、就職も大学もあきらめてしまったというのは、残念至極です。
いくら、同情したところで、何も始まりませんが、前向きに行きましょう！！

ただ、ブルーアイズさんの書き込みを読んでいると、頭の良い方のように思えて・・・

発病された時期もくに知らずに、「青春を取り戻して下さい」とエールを送った国土無双の書き込みも問題ですが、それを応援と受け取って下さった、ブルーアイズさんの器量は大きいと思います。

今後も、国土無双の自分本位の書き込みは、止めないと思いますが、どうか、懲りずにお付き合いしてください<m(_)>

[1149] ああ、青春がもう一度あれば・・・ 2008年12月1日 20時2分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

国土無双さん、昨日の書きこみ、ブルーアイズに対する応援だと思ってありがたくお受けします。

国土無双さんから貸していただいたジョブガイダンスの資料は国土無双さんのメル友にお渡しいたしました。

いろいろ仕事探しの面で参考になることが書いてありましたが、銀杏の就労移行セミナーとも重複するところもあり、銀杏でもかなり高度なことをやっているんだなと思いました。

ところでブルーアイズも若かりしころの青春時代に戻れるならどんなにいいことか！
高校生のとき発病してしまったため就職も大学もあきらめるはめになってしまい、
国土無双さんや三八さんのように大学にいけなかったのが残念でなりません。
若い青春時代を同じ年頃の仲間たちと過ごして尊敬する先生や先輩方、
友人やガールフレンドなどがいたらどんなにか良き日々を送れたことか・・・
高校生のときに戻ってもう一度人生をやり直せたらなあ・・・

おっと、思わず愚痴を言ってしまうました。

いくら悔やんでもいまさらどうしようもないのでこれくらいにしておきます。

それではみなさん、今週も張り切って行きましょう。ではでは。

[1147] ブルーアイズさん青春を取り戻して下さい 2008年11月30日 21時35分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

ブルーアイズさんの書き込みのように、明日から12月ですね。

国土無双はいよいよ、年末商戦で、大変です。

もう、国土無双の職場の話は聞き飽きたと思うので、今日は書き込みません。

ところで、ブルーアイズさん、今年は何もせず終わってしまったというのはご冗談のように聞こえますが・・・

国土無双のメール友達によると、ブルーアイズさんのパソコンスキルはかなりのものだと伺ってます。

この一年で、物凄く上達したのではないのでしょうか？

就労支援移行コースのプログラムもこなし、社会に出る準備も出来たのではないのでしょうか？

又、バレーボールのキャプテンをされたり、バレーボールの方でも頑張っているらしいです。

単発のアルバイトの方も、なさっているらしいようで、ブルーアイズさんにとっては、充実した1年だったのではないのでしょうか？

年は取る度に、1年が早く過ぎるといのは国土無双も実感しますが、何もしないで、過ごされたといのは・・・

ブルーアイズさんの頭の中がもう銀杏の忘年会に向いているのは、国土無双からすると羨ましいですが、まだ、無為の境地に達するご年齢だとは思いません。

国土無双は何気ない日常を描いた小津安二郎の映画やサザエさんは好きですが、登場人物の大人の方は皆さんお仕事を持っています。

ブルーアイズさんの主治医の先生とのご相談や、銀杏の職員さんとのご相談の内容

は存じませんが、職に就くことが目標だったのではないですか？

どうか、若かりし日々のブルーアイズさんの青春の日々を取り戻して、前のめりになって、つまづいても、起き上がって、生きていって下さい！！
とはいっても、ご無理はなさらず・・・

いつもの、国土無双お得意のブルーアイズさんへの偉そうなお意見ですが、書き込ませて頂きます。

明日は国土無双のメール友達にジョブガイダンスの資料をお貸しするとのことですが、ブルーアイズさんの感想もお伝えして、何かアドバイスしていただければ、仲間の輪が出来ると思います。

疲れているので、何か滅茶苦茶な内容になってしまいましたが、ご勘弁を。
ではでは、皆様、今冬は、新型のインフルエンザも流行るとのことですが、師走を乗り切って、良い年が迎えられるように！！

[1146] 早いものですねえ・・・もう明日は12月です 2008年11月30日 18時19分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

土日にも関係なく働いている方には申し訳ないですが
ブルーアイズはこの2日間のんびりと過ごさせていただきました。

それにしても早いものですねえ・・・
ついこのあいだ年が明けたかと思ったら明日からもう12月ですよ。
年々、年のすぎるのが早く感じられます。

ブルーアイズ、この一年何をしてきたかと振り返ると取り立てて何もしないで過ごし、ただ歳だけ取っただけなような気が・・・

銀杏の忘年会は12月の19日におこなわれるそうです。
毎年忘年会にはお寿司やピザなどのご馳走が並びますが
去年はブルーアイズはノロウィルスにやられてしまい出席できず
忘年会のご馳走を食べられなかったぶんだけ今年はしっかりといただきますよ。

いつの間にか話が食べることになっているのはブルーアイズらしい・・・???

明日からまた忙しい一週間が始まります。がんばっていきましょう。ではでは。

[1145] 山梨県の就労支援の話 2008年11月28日 21時34分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の記事の続きです。

障害者の就労支援に携わる甲府圏域地域療育コーディネーターの出口幸英さん(38)は「一概には言えないが、知的障害は単純作業を長時間続けられる特性がある。精神障害者も、短時間なら障害のない人と同等の仕事ができる」と話す。

ただし、周囲の理解と支援が不可欠。それさえあれば、障害者が収益を生む事業を営むことは可能と出口さんは考えている。

実際、南アルプス市の「みらいコンパニー」は果物や野菜の生産・販売で収益を上げている。同市の「どんぐりの家」は「癒やし」ブームに着目。「コケ玉」を育てて販路を拡大しようとしている。

生き生きと仕事のできる確かな居場所があれば、本人も家族も希望を見いだせる。それを受け止められるかどうか、社会の側も問われている。

毎日新聞 2008年11月28日 地方版

銀杏でも、カレンダー作りなどしているようですが、何か、外に売り出せる商品などを作れないでしょうか。

恐怖突入の精神で、何かにチャレンジできるような作業所になれば、メンバーの方の経済的、精神的充実につながるとは思います。……

偉そうでしたら、済みません<(_)>

[1144] 山梨県の就労支援の話 2008年11月28日 21時28分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の記事の続きです。

「みんな仕事にプライドを持っている。『人と同じようにする必要はない』と言えば、思いもしない作品が出来ます」(斉藤さん)。基本的な技術は身についた。来年は木を模したナイトランプに挑戦しようと考えている。ナイトランプは、作家によっては数十万円する商品もある。商売として成り立つ可能性が十分にある。

甲府市の30代の男性は、ひかりハウスに通い初めて10月で1年になった。母親(66)は「良く続いている」とうれしそうだ。

男性には20歳のころ、精神障害の症状が表れた。「心の中から声がする」というようになり、入退院を繰り返した。たどりついたのが、ひかりハウスだった。仕事に出るのがおっくうになる日もある。そうすると斉藤さんから「待ってるよ」と電話がかかる。

「待っていてくれる人たちがいるのがうれしい。この仕事なら頑張れると思う」と男性は話す。技術も身につけ、他のメンバーを指導することもある。「1人になっても、大丈夫じゃないかな」

母親は今夏、展示会で初めて息子の作品に触れ、その才能に驚いたという。「『こんなことができるのか』と。優しい子なんだけど、仕事が続かなくて心配だった。光が見えてきました」

次に続きます。

[1143] 山梨県の就労支援の話 2008年11月28日 21時27分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

今日は今まで、溜まっていた入荷を全部空けて、職場は修羅場でした。これから、年末にかけて、ますます、忙しくなりそうで、体調が少し、心配です。ところで、又、障がい者の就労支援の話、ネットで見つけましたので、投稿します。

働いて生きる：障害者自立支援法、完全施行から2年 / 下
得意分野生かす仕事 / 山梨

問われる「確かな居場所」づくり

甲府市天神町のNPO「いでたちの家 ひかりハウス」。一軒家を借り切った作業所では、知的障害や精神障害を持つ人たちが、黙々と色とりどりのガラスの断面を削ったり、ガラス片を組み立てたりしている。制作するのはスタンドグラス製品。目標は「売れる商品を作る」ことだ。

ひかりハウスは06年1月、福祉施設職員だった斉藤加代子さん(58)が設立した。

当初は農作業が中心だったが、長年スタンドグラスを制作してきた姉の河口妙子さん(61)の協力を得て、スタンドグラスを始めた。「日常生活では触れられない『きれいな物』を身近に感じてほしかったし、さまざまな工程があるので個性に合わせた作業ができると思ったのです」と斉藤さんは語る。

ひかりハウスには現在、20～65歳の男女9人が通う。携帯電話のストラップや小さな容器をバザーなどで販売している。

1日の作業量や手順は決められていない。集中力は続かないが手先が器用な人、逆に細かい作業は不得手だが根気のある人もいる。気が乗らなければ休んでもいい。各自の得手不得手に合わせて仕事を振り分けている。

次に続きます。

[1142] バックアップは慎重に 2008年11月27日 21時29分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

ブルーアイズさん、銀杏ではパソコンでカレンダー作っているんですね。
どんな、カレンダーが出来るのか見てみたいです。
11月の分まで、カレンダー製作されたのに、データが消えてしまったというのは残念
です。
データのバックアップは慎重に行った方が良いと思います。
来週から、又、一から出直したそうですが、ブルーアイズさんの対物ポイント生かし
て、頑張って良きカレンダー作ってください(^_-)-

まえのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

1153

記事削除

powered by **du one**
NET